

第26回日本緑内障学会

ランチョンセミナー6

日時▶2015年9月11日(金) 12:15~13:15

会場▶第6会場(ウインクあいち 902会議室)

新たな緑内障診断を考えよう!

~OCT Angiography、マイクロペリメータの活用~

座長のことば

眼科の医療機器の進歩は、まさに日進月歩の様相を呈しています。緑内障の分野においてもOCTをはじめ様々な検査機器、新しい手術器具や術式が導入され、緑内障診療に大きな変化をもたらしています。どんなに機器が進歩しようが緑内障診療の基本は、構造と機能を的確に評価することです。OCTで緑内障の構造変化を検出できますが、眼底視野計であるマイクロペリメータは、構造変化のある局所の機能変化を測定できます。また、緑内障による視神経乳頭や網膜内層の構造変化には、先行してか同時か続発かは不明ですが微小血管の障害や脱落を伴うことが知られています。

本セミナーでは、溝上志朗先生にOCTとマイクロペリメータにより今後の緑内障診療がどう変わるか、そして板谷正紀先生にはOCT Angiographyを緑内障診療にどのように用いるとよいか、多くの症例をもとに経験豊富なお二人の演者に講演していただきます。明日からの眼科診療に役立つホットな最新情報が伺えるものと期待しています。

座長

Kazuhiya Sugiyama



杉山 和久先生

金沢大学眼科 教授

OCTとMP-3のある緑内障診療

OCT Angiographyの
試用経験と緑内障診断への応用

演者

Shiro Mizoue



溝上 志朗先生

愛媛大学大学院視機能再生学講座 准教授

演者

Masanori Hangai



板谷 正紀先生

埼玉医科大学病院眼科 教授